

項目	内容
名称	キンレンカ、ナスタチウム、ノウゼンハレン [英]Nasturtium、Capuchina、Grande Capucine、Indian Cress、Tropaeolum [学名]Tropaeolum majus
概要	キンレンカは、ペルー原産のノウゼンハレン科の一年草。主に地上部、種子、葉が用いられ、葉は花がサラダなどとして利用される場合もある。
法規・制度	<b>■ 食薬区分</b> ・全草：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・フラボノイド類、グルコシノレート、ベンジル芥子油 (ベンジルイソチオシアネート)、グルコシアン酸塩 (グリコトロペオリンなど)、スピラントール、ミロシン、ビタミンCなどを含む (29) (33) (101)。
分析法	-
有効性	

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒト生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
で脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
の免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	<p>(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳</p> <p>(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館</p> <p>(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)</p> <p>(33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ</p> <p>(34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一</p> <p>(35) 新分類 牧野日本植物図鑑 北隆館</p> <p>(58) The Complete German Commission E Monographs</p> <p>(80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ</p> <p>(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).</p> <p>(101) PDR for Herbal Medicines Fourth Edition, Thomson.</p> <p><a href="#">(PMID:9068756) Br J Dermatol. 1997 Feb;136(2):290-1.</a></p>